

松村 詩史 Shifumi MATSUMURA

大阪府岸和田市生まれ。

慶應義塾大学文学部美学美術史学専攻にて音楽美学を学び、同大学を卒業後、東京音楽大学音楽学部作曲指揮専攻（指揮）に入学する。

これまでに、指揮を広上淳一、田代俊文、増井信貴、時任康文、三河正典、船橋洋介、ピアノを森早苗、野田清隆、川端千絵、ヴァイオリンを舘市正克、尺八を柿堺香、音楽理論を植田彰の各氏に師事。

また、東京音楽大学在学中に、ボリス・ベルキン氏、故汐澤安彦氏のマスタークラスを受講した。

東京音楽大学卒業後より学内外で広上淳一氏のアシスタントを務め、2022年夏に開催された「グランシップ音楽の広場」では急病のために降板した氏の代役に指名され、野平一郎氏の新作《祝祭の打～輝け五大陸～》（和太鼓：林英哲氏、英哲風雲の会）の世界初演を含む公演を成功に導いた。

首都圏をはじめとする各地のオーケストラや合唱の指揮・指導をおこなうかわら、テレビドラマ『相棒』への音楽制作協力・指揮者役としての出演や、リーグ《劇音楽『パール・ギュント』》の語りを務めるなど、活動の幅を広げている。

2025年、「公益財団法人山田貞夫音楽財団 第7回指揮者オーディション」にて、特選（第1位）ならびに山田貞夫音楽賞を受賞。

2019年4月から2026年3月まで東京音楽大学指揮研究員を務め、2026年4月にセントラル愛知交響楽団のアソシエイトコンダクターに就任。